

## 日本最大の国際舞台芸術フェスティバル開催中！

～ フェスティバル/トーキョー11 本日から豊島区内会場で開催 ～

「フェスティバル/トーキョー11」は、東京からの文化発信を目指す東京都および東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）、芸術文化によるまちづくりを推進する豊島区および公益財団法人としま未来文化財団、そして特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパンが主催団体となり、9月16日より11月13日までの46日間にわたり開催されている。

今回は、メイン会場である東京芸術劇場の改修工事に伴い、豊島区内会場が5会場、区外会場が4会場と、都内各地でプロジェクトを展開している。

その「フェスティバル/トーキョー11」が、本日(7日)から豊島区内の会場での公演が始まった。

豊島区内最初の公演は、人の営み、歴史を壮大な「風景」として描く野外劇の雄・維新派。20年ぶりの東京での野外公演の舞台は池袋のビルの屋上。遠く浮かび上がる高層ビル群、吹き抜ける風、そして俳優たちの声、身体。そのただ中で観客は自らそれぞれの東京・池袋の「風景画」を心に描いていく。(有料公演)

このほか11月11日まで豊島区内各会場で舞台芸術の祭典が続く。

このフェスティバルの開催を通じて、震災復興の糧となるあらたな想像力を生み出し、国際都市トーキョーから再び世界へと、東京ならではの創造性を発信してきます。

どうぞ「フェスティバル/トーキョー11」の後半にご期待を。

日 時	「風景画-東京・池袋」平成23年10月7日～16日まで（13日は休演）	
場 所	「風景画-東京・池袋」会場 西武池袋本店4階まつりの広場（南池袋1-28-1）	
F/T 開催概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会期：11月13日（日曜日）まで</li> <li>・ 会場：にしすがも創造舎、シアターグリーン、自由学園明日館、あうるすぽっと、彩の国さいたま芸術劇場ほか、都内野外特設会場</li> <li>・ プログラム：国内外から舞台芸術（演劇・ダンス）作品30演目</li> <li>・ 主催：フェスティバル/トーキョー実行委員会</li> </ul>	
写 真 *写真はメールで送ります	<p>野外公演の稽古</p> 	<p>稽古風景</p> 
問 合 せ	フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局	

平成 23 年 7 月 6 日

# 豊島区にて日本最大の国際舞台芸術フェスティバルが開催！

## ～ フェスティバル/トーキョー11 ラインアップ発表記者会見開催 ～

本日、ホテルメトロポリタンにおいて、「フェスティバル/トーキョー11」のラインアップ発表記者会見が行なわれた。平成 21 年 3 月に第一回を開催したのを皮切りに、同年 10～12 月に第二回、平成 22 年 11 月に第三回と回数を重ねるごとに東京、そして日本を代表する国際芸術祭として国内外で講評を博している。観客動員数は延べ 19 万人にのぼる。第 4 回を迎える今回は、「私たちは何を語ることができるのか？」をコンセプトに、国内外から最先端の舞台芸術(演劇・ダンス)作品を多数ラインナップ。「野外劇」をはじめ、web などさまざまな形で「劇場=Theater」の外に出て、自由かつ大胆な発想で特別な「劇の場」を生み出すプロジェクトに挑戦する。

関連企画として、インフォメーションやカフェを 1 か所に定めず、都市に分散させる「F/T ステーション」をはじめ、レクチャーやトーク等を拡充し、F/T を盛り上げる様々な仕組みをより充実させる。

日 時	平成 23 年 7 月 6 日 (水曜日) 午後 2 時～	
場 所	ホテルメトロポリタン 3 階 カシオペアルーム (西池袋 1-6-1)	
F/T 開催概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 会期：平成 23 年 9 月 16 日 (金曜日) ～11 月 13 日 (日曜日) (予定)</li><li>・ 会場：にしすがも創造舎、シアターグリーン、自由学園明日館、あうるすぽっと、彩の国さいたま芸術劇場ほか、都内野外特設会場</li><li>・ プログラム：国内外から舞台芸術 (演劇・ダンス) 作品 30 演目</li><li>・ 主催：フェスティバル/トーキョー実行委員会、東京都、豊島区、東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、公益財団法人としま未来文化財団、NPO 法人アートネットワーク・ジャパン</li></ul>	
会見の様子	<p>プログラム・ディレクターの相馬千秋氏 (NPO 法人アートネットワーク・ジャパン) は、挨拶の中で「東日本大震災が起きてから初めての開催になり、アーティストの作品のレベルや運営面、海外との関係に大きく影響を及ぼすと思います。特殊なものになるのでは。」と語った。</p> <p>続いて主催作品から 6 名のアーティストが登壇し、様々な表現方法を用いた作品について紹介した。</p>	
写 真 * 写真はメールで送ります	主催作品アーティスト 	主催作品、公募作品アーティスト 
問 合 せ	フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局	

平成 23 年 6 月 1 日

<情報提供>

**今秋「フェスティバル/トーキョー11」開催決定**

日本を代表する国際舞台芸術祭として、国内外で好評を博した「フェスティバル/トーキョー」の第4回がこの秋開催される。これまで、平成21年3月に第1回（F/T09春）、同年10月～12月に第2回（F/T09秋）、平成22年11月に第3回（F/T10）を開催した。世界の最先端が集う先鋭的なラインナップで注目を集め、観客動員数は延べ19万人にのぼる。

今回の第4回では、これまでの創成期で培った実績・経験をもとに、アジア地域を牽引するフェスティバルを目指す。

名称：フェスティバル/トーキョー11  
Festival/tokyo11

会期：平成23年9月16日（金曜日）～11月13日（日曜日）（予定）

会場：都内各所  
あうるすぽっと、にしすがも創造舎、シアターグリーン、自由学園明日館  
彩の国さいたま芸術劇場 ほか

主催：フェスティバル/トーキョー実行委員会、東京都、豊島区、東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）、公益財団法人としま未来文化財団、NPO法人アートネットワーク・ジャパン

詳細：別添資料参照

問い合わせ： フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 電話 03-5961-5202



# F/T11

## フェスティバル/トーキョー

プレスリリース  
平成23(2011)年 5月31日

### 開催概要

- 名称 フェスティバル/トーキョー11  
Festival/Tokyo 11
- 会期 平成23(2011)年9月16日(金) ~ 11月13日(日)(予定)
- 会場 都内各所  
あうるすぽっと  
にしすがも創造舎  
シアターグリーン  
自由学園明日館  
彩の国さいたま芸術劇場 ほか
- 主催 フェスティバル/トーキョー実行委員会  
東京都  
豊島区  
東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
公益財団法人としま未来文化財団  
NPO法人アートネットワーク・ジャパン

### お問合せ

フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局  
〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨4-9-1 にしすがも創造舎  
NPO法人アートネットワーク・ジャパン内 担当: 湯川  
Tel:03-5961-5202 Fax:03-5961-5207 E-mail: [press@anj.or.jp](mailto:press@anj.or.jp) <http://festival-tokyo.jp>

東京文化発信プロジェクトに関するお問い合わせ・取材のお申込:  
東京文化発信プロジェクト室事業推進課  
Tel: 03-5638-8800 Fax: 03-5638-8811 E-mail: [info@bh-project.jp](mailto:info@bh-project.jp)

**開催趣旨**

**トーキョー発、舞台芸術の祭典**

この度、東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、ご家族の方々に対しまして、謹んでお見舞い申し上げます。また、復興に向けてご尽力されている方々へ深い敬意を表しますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

この度、東京からの文化発信を目指す東京都および東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、芸術文化によるまちづくりを推進する豊島区および公益財団法人としま未来文化財団、そして特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパンは、第四回フェスティバル/トーキョー(フェスティバル/トーキョー11)を開催いたします。平成 21(2009)年 3 月に開催された第一回(F/T09 春)、同年 10 月～12 月に開催された第二回(F/T09 秋)、平成 22(2010)年 11 月に開催された第三回(F/T10)では、世界の最先端が集う先鋭的なラインアップで注目を集め、東京、そして日本を代表する国際芸術祭として国内外で定着を得ることができました。続く第四回では、これまでの創成期で培った実績・経験をもとに、アジア地域を牽引するフェスティバルを目指し、さらなる努力を重ねてまいります。

これまで過去三回のフェスティバルでは、常に、舞台芸術という「いま、ここ」のメディアが今日の社会で持ちうる力、その可能性を問い直すという基本姿勢のもと、それに応じる作品が数多く上演されてきました。今回は、メイン会場である東京芸術劇場の改修工事に伴い、既存の劇場以外の場所を活用したプロジェクトが多数展開されます。演劇と都市、演劇と社会の関係をもう一度問い直しながら、わたしたちが世界に誇る国際都市東京のポテンシャルを存分に活用し、再発見してまいります。

また、アジアにおける舞台芸術の創造と対話のプラットフォームとなるべく、アジアに特化したプログラムや広報活動を拡充して参ります。「公募プログラム」の対象地域をアジアに拡大、さらに、アジア全域から集まる若手アーティストの作品に対して、「F/T アワード」を授与するという新しい試みにも着手し、アジアから新しい価値の創造を仕掛けてまいります。

私たちはこのフェスティバルの開催を通じて、震災復興の糧となるあらたな想像力を生み出し、国際都市トーキョーから再び世界へと、東京ならではの創造性を発信してまいります。どうぞ第四回目となるフェスティバル/トーキョーにご期待ください。

フェスティバル/トーキョー 主催者一同

**東京文化発信プロジェクトとは**

東京文化発信プロジェクトは、世界の主要都市と競い合える芸術文化の創造発信と、芸術文化を通じた子供たちの育成、多様な地域の文化拠点の形成を目的として、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。

演劇、音楽、伝統、美術など様々な分野のイベントやフェスティバル、まちなかで市民とアーティストが協働するアートプログラム、まちとアートをつなぐ人材の育成事業、子供向けの体験型プログラムなどの事業を展開しています。

文化基盤の厚さ、先進巨大都市としての活力や多様性を最大限に活かし、東京の魅力を創造発信することで、世界における東京の文化面でのプレゼンスを確立するとともに、アジアをはじめ世界の様々な都市との国際文化交流拠点となることを目指しています。

## 私たちは何を語るることができるのか？

未曾有の大震災によって、私たちの日常は断絶し、あまりにも多くのものが失われました。私たちはいま、「生きること」自体に大きな負荷のかかる時代、地域にいます。少なくとも私個人はそのように感じ、この事態に対する虚無感や違和感から逃れることができません。このような現実を前に、私たちは何を語るのでしょうか？ 演劇というメディアを通じて、私たちはどう、この現実と向き合うことができるのでしょうか？ それは、常にあった問いです。しかし今ほど、その問いが、私たちの前に鮮烈に立ち現れてきたことはなかったように思います。今回の F/T では、まず、そのことと愚直に向き合うことを避けることはできないように感じます。当初の計画どおり、さまざまな形で「劇場=Theater」の外に出ることによって、演劇と社会、演劇と都市の関係を問い直す作業を継続します。また公募プログラムがアジア地域に拡大し、アジアの同時代の対話が始まります。それらの複数の試みを通じて、私たちの目の前にある複雑な現実を何とか掴み直す作業を、アーティストや観客の皆様と共に始めたいと思います。それは長い時間のかかる作業になるのではないのでしょうか。いま、私たちの想像力が試されています。

平成 23(2011)年 5 月 31 日  
相馬千秋(F/T プログラム・ディレクター)

プログラム

■ F/T 主催作品

国内外から最先端の舞台芸術(演劇・ダンス)作品を多数ラインナップ。さまざまな形で「劇場＝Theater」の外に出ることによって、演劇と社会、演劇と都市の関係を問い直す作業を試みます。

ダンス界の革命家、ジェローム・ベルの歴史的傑作

『The Show Must Go On』 【クロージング演目】



日程：平成 23 (2011) 年 11 月 12 日(土)・13 日(日) (予定)

会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

構成・演出：ジェローム・ベル

共同主催：彩の国さいたま芸術劇場(公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団)

日本バージョン初演

○Mussacchio Laniello

世界 50 都市以上でツアーを重ね、リヨン・オペラ座バレエ団のレパートリーにもなっているジェローム・ベルの代表作の日本バージョンを初演！誰もが一度は聞いたことのあるポップスの名曲が次々と流れる中、公募で集まった職業、年齢、性別、国籍、ルックスも様々なパフォーマーが舞台上に登場。ダンスとは何か？という問いかけが会場を包む。

日本バージョンの上演にあたって、平成 23(2011)年 3 月 31 日(木)まで日本版キャストを募集したところ、239 通もの応募がありました。現在 24 名となるキャストを選考中です。

■F/T11 公募プログラム

F/T10 で注目を集めた公募プログラムの対象地域をアジアに拡大。国内から 67 件、アジア地域から 80 件、計 147 件の応募のなかから最終的に国内 7 組、アジア地域から 4 組が本選に参加します。国内外の若い才能がぶつかり合い、アジア共有の対話の創出をめざします。

公募プログラム開催期間：平成 23(2011)年 10 月 17 日(月)–11 月 8 日(火) (予定)

場所：シアターグリーン(池袋)ほか

【参加団体(日本国内)】(50 音順)

KUNIO(京都)	鳥公園(東京)	振子びじん(東京)	バナナ学園純情乙女組(東京)
ピーチャム・カンパニー(東京)	村川拓也(京都)	ロロ (東京)	

【F/T アワード】新設！！

F/T11 公募プログラムでは、アワードを新設。あたらしい価値の創出に取り組む優秀者に授与され、受賞者は翌年以降のフェスティバルに招聘されます。

審査員： 内野 儀(演劇批評家・東京大学総合文化研究科教授)、鴻 英良(演劇評論家)、  
ハンス＝ティース・レーマン(演劇理論家／批評家)、  
松田正隆(劇作家・演出家・京都造形芸術大学舞台芸術学科客員教授)、  
相馬千秋(F/T プログラム・ディレクター)

■参加作品

F/T と同時期に開催される、トーキョー発の作品群。都内劇場、劇団等の協力により集結。  
F/T11 では 6 作品程度を予定。

■関連企画

F/T ステーションをはじめとする、フェスティバルを盛り上げるさまざまな仕組みに加えて、レクチャー、アーティスト・トーク等の関連企画を拡充。

## 8月下旬、チケット前売り発売開始予定！

主催作品をはじめとする全プログラムと詳細は、平成 23(2011)年7月6日(水)に開催する『フェスティバル/トーキョー11 ラインナップ発表記者会見』にて解禁いたしますので、ふるって御参加のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

※記者会見につきましては別途ご案内申し上げます。

以降、公演詳細やチケット情報などは、決まり次第、公式サイト等でご案内してまいります。

<http://festival-tokyo.jp>